

九州大学持続可能な社会のための決断科学センターが中津市と協力協定を締結

九州大学持続可能な社会のための決断科学センターと中津市は、地域社会の振興及び人材育成並びに大学における教育・研究の活性化を目的に、平成30年1月18日（木）に協力協定を締結します。

決断科学センターと中津市は、これまでも環境保全に関する個別課題において連携を図ってきましたが、今回の協定締結を機に、大学が有する知的資源と自治体が有する地域資源や文化の結合を一層強化し、中津市の総合計画である「なかつ安心・元気・未来プラン2017」を連携して推進するとともに、地域の課題解決のための実践的な教育、研究を行っていきます。

【調印式】

- (1) 日時：平成30年1月18日（木）11:30～12:00
- (2) 場所：中津市役所（大分県中津市豊田町14-3）
- (3) 代表者：【九州大学】矢原 徹一 持続可能な社会のための決断科学センター長
【中津市】奥塚 正典 市長

(4) 協定の内容

＜協力する項目＞

- ① 「なかつ安心・元気・未来プラン2017」に基づいたまちづくりへの学生、教員、専任教員の参加
- ② 中津市による学生に対する教育及び研究の機会の付与
- ③ 共同カンファレンスの開催
- ④ 共同研究等の実施

＜期間＞

平成30年1月18日（木）から平成30年3月31日（土）まで（ただし、双方から特に申し出がない場合は1年ごとに自動更新する。）



（市民を対象とした研究報告会の模様）

＜決断科学センターとは＞

文部科学省の博士課程教育リーディングプログラムとして平成25年度よりスタートしたプロジェクト「持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム」を実施する教員組織であり、本プログラムは学生が専門分野の枠を超え、社会的問題解決に実践を通じて取り組む、大学院博士課程学生の副専攻コースとなっています。